

第33回総会誌

徳島玉翠会



「暮色の高松」

2026年(令和8年)度版

2026. 6. 20(土)開催

目次

表紙題字：山下 俊文

表紙写真：森川 輝男

ごあいさつ

〔徳島玉翠会会長〕	長尾哲見	02
〔玉翠会会長〕	間島賢治	03
〔香川県立高松高等学校長〕	中筋功雄	04
第33回徳島玉翠会総会案内・式次第		06
特別講演の紹介 たった一度の人生だから…〔徳島玉翠会幹事〕	中原大道	07
2025年度会計報告〔徳島玉翠会副会長兼会計担当〕	中村芳正	08
主な活動報告、徳島玉翠会役員・事務局関係者名簿		09
第32回総会・懇親会の報告〔徳島玉翠会副会長兼事務局長〕	坂口英則	10
第32回総会・懇親会集合写真		11
玉翠会だより		
G・K・S・C!〔玉翠会副会長〕	池田恵子	12
徳島玉翠会第32回総会に参加して〔岡山玉翠会副会長〕	池田和真	13
徳島玉翠会第33回総会に寄せて〔関西玉翠会常任幹事長〕	川井裕基	14
徳島玉翠会第32回総会に参加して〔東海玉翠会幹事〕	谷崎 琴	15
徳島玉翠会会員寄稿		
玉翠会の絆、そしてAIと歩む未来〔徳島玉翠会会員〕	吉岡義人	16
第33回総会誌表紙写真について〔玉翠会副会長〕	森川輝男	17
支部総会出席報告		
東海玉翠会総会〔徳島玉翠会会長〕	長尾哲見	18
東京玉翠会総会〔徳島玉翠会幹事〕	名尾和弘	19
関西玉翠会総会〔徳島玉翠会副会長〕	加藤弘道	20
岡山玉翠会総会〔徳島玉翠会会長〕	長尾哲見	21
徳島玉翠会会則〔徳島玉翠会副会長兼事務局長〕	坂口英則	22
令和7年度年会費納入者〔徳島玉翠会副会長兼会計担当〕	中村芳正	23
編集後記〔徳島玉翠会事務局編集担当〕	邊見千香	24

賛助広告ご芳名

旭鉱石株式会社

株式会社アルファード

いしたに耳鼻咽喉科クリニック

いのもと眼科・内科

株式会社小竹組

医療法人医師会 宮内クリニック

ザ グランドパレス徳島

ごあいさつ

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

今年2026年丙午は「情熱や変化、大きなエネルギーに満ちた年とされ、新しい事への挑戦や飛躍のチャンスが多く、物事が大きく動き出す転換期となる」と言われていますが、その通り、年明けから世界では国際法を無視したアメリカによるベネズエラ急襲とグリーンランド領有の動き、イランのデモ発生、国内では物価高・円安と国民生活が大変な中で、高市総理の急な衆院解散報道に伴う新党「中道改革連合」結党と総選挙、また、日本各地で山林火災が多発するなど、年明け早々、国内外、様々な出来事が起こりましたが国民が安心して暮らせる平和な日本である事を切に願うところです。



さて、玉翠会も母校の少子化による生徒数の減少に伴い、若い世代の会員の減少と高齢化が大きな課題になっています。

特に徳島など地方の支部は切実な問題です。その意味でも若い世代の参加に力を入れたいと思っていますが個人情報保護の問題で卒業生の掌握がなかなか難しい中で会員の皆様には高松高校卒業生の情報がありましたら事務局迄ご一報頂ければ幸いです。

今年の第33回総会は6月20日（土）午後1時からザ グランドバレス徳島で玉翠会本部、支部、高松高校から来賓を迎えて開催いたします。徳島支部の会員の皆様には万障お繰り合わせの上是非ともご参加下さい。

また、皆様には送付した総会誌にお目通し頂き、県内外で同期の方がいましたら是非ともお声かけお誘い頂ければ幸いです。

役員一同、楽しく、参加して良かったと言われる総会開催を目指して鋭意準備して皆様のご来場をお待ちしております。

最後になりましたが徳島玉翠会の益々の発展と会員の皆様方のご健勝と母校の益々の発展を祈念してご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

玉翠会会長 間島 賢治（昭和47年卒）

徳島玉翠会の皆様には、日頃より玉翠会の運営に関して多大なるご支援、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。また、毎年、徳島玉翠会恒例のクイズ等もあり、楽しく総会に参加させていただいています。

現在、高松高校は1学年約280名で男子生徒より女子生徒が多く、また文系よりも理系が多い状況です。皆様の頃と比較していかがでしょうか。昭和47卒は600名を超え、文系の生徒のほうが多く、理系の私は3学年の時には男子生徒だけの俗に言う「野郎組」でした。今後は更なる少子高齢化が予想されており、同窓会組織の維持も懸念されます。そ

こで、本部も各地玉翠会総会のように理事・代議員会の懇親会から、全員が参加いただける懇親会に、来年の2027年総会から変更を検討しています。香川県は大学進学者の8割程度が県外大学に進学しており、高松高校卒業生の県内就職者も少なくなっています。今後の円滑な運営には、創立130周年記念行事にも活躍いただいた皆様の英知が必要です。将来、玉翠会の運営を担っていただける香川県内在住の卒業生の参加が増え、同窓会活動が順調に継続できることを期待しています。

さて、高校授業料の無償化が進められています。公立学校の授業料程度に加え、私立学校もほぼ授業料が無償化する金額が助成されます。また、中高一貫校が全国的に注目される中、本県でも新しい中高一貫校の設置が検討されますが、母校の今後の状況を注視したいと思います。

なお、皆様からお振込いただく年会費の中から現役生徒に奨学金を助成させていただいていますが、授業料以外にも必要経費が多くあり、授業料が無償化になっても従来通り学校側にご推薦いただいた生徒に助成させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

多世代に対応したコミュニケーションツールとして玉翠会LINE公式アカウントの試験運用を終え、本年度から正式にスタートさせます。目的は、SNSツール「LINE」を使って、玉翠会が実施する事業・イベント等に関する情報や、卒業生に関する情報を効率的にお届けすることです。QRコードからアプリを読み込み、「ともだち登録」をお願いします。今後に向けての新しい取り組みですので、多くの方にご利用いただけるように、皆様のご意見を取り入れながら継続的に改善をしていきたいと考えています。今後とも玉翠会の運営に関して、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、徳島玉翠会の益々のご発展と長尾会長様をはじめ会員皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



**高松高校玉翠会
LINE 公式アカウント
はじめました!**



玉翠会からのお知らせや
イベントなどを不定期に配信!

ごあいさつ

香川県立高松高等学校長 中筋 功雄（昭和 59 年卒）

麦秋の候、徳島玉翠会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育諸活動に格別のご高配を賜っておりますことに、学校を代表して厚く御礼申し上げます。



さて、会員の皆様は、本校が海外の高校と姉妹校提携を結んでいるのをご存じでしょうか。台湾の北部にある桃園市立武陵（ぶりょう）高級中等学校と、令和元年12月に提携を結び、当時の出射校長先生と武陵の林（リン）校長先生の間で協議書を交わしました。その頃、香川県が台湾との交流を各方面で後押ししていた時流に乗って、提携を結ぶ前に武陵からの来校を一度受け入れ、提携の後に本校からも訪台して高校生同士の交流を本格化させました。ところが、その直後に新型コロナウイルス感染症の拡大が世界を覆った影響で、両校の相互訪問が途絶えてしまいました。その後、令和5年度に新型コロナの扱いが第五類に引き下げられたことに伴って徐々に交流が再開し、令和7年度の夏には武陵から音楽の演奏のために来県した生徒のうち、数名を本校の生徒宅のホームステイで受け入れるという交流が復活しました。

そしてついに、昨年末に本校生の台湾訪問を実に6年ぶりに再開させることができました。校長を含む教員2名と、事前の選考で選ばれた生徒18名の合計20名が、令和7年12月20日から三泊四日の日程で台湾海外研修に出かけました。私を含めてほとんどの参加者が台湾は初めての地でしたが、実は沖縄本島よりも緯度が低い台湾の夜は暖かく、高松空港からわずか3時間あまりでも異国に来た感覚は十分でした。武陵との交流は三日目の22日に予定されていましたが、二日目の21日に我々が訪れた観光地の「十分」まで、武陵の生徒30名ほどがスクールバスで来てくれることが急に決まり、予定より一日早い生徒交流が始まりました。その後、次の観光地「九份」にも各々のバスで移動し、映画『千と千尋の神隠し』に登場するようなエキゾチックな街並みの中を、両校の生徒がしだいに親密度を増しながら交流しました。武陵は台湾でも有数の進学校で、生徒の気風は自由で闊達、どこか本校生とよく似た匂いがしました。積極的に英語で会話を楽しみ、台湾スイーツと一緒にほおぼり、スマホで写真を撮りあう、そんな光景が随所で見られました。

翌日の22日は朝から武陵高級中等学校へお邪魔し、一日たっぷり交流活動に終始しました。学校は桃園市の市街地にあり、車通りの激しい大通りに面している交通便利地といった環境も高高と似通っていました。武陵は高高以外にも提携先を持っており、いわば交流慣れしている武陵生は次々と交流活動のメニューを用意してくれており、一コマの交流活動が終わるか終わらないかのタイミングで次の活動の生徒が高高生を呼びに来て、別の教室へ奪って行くといった様相でした。当初は武陵生の積極性にやや戸惑っていた高高生もいましたが、それぞれに自分の個性や英語力を駆使してコミュニケーションを図り、交流することの喜びに高揚した様子でした。激動の一日を終えたその日の下校時には、そのままホストファミリーに引き取られてホームステイをさせていただきました。台湾の家庭生活を味わったり、買い物へ連れて行って頂いたりして、台湾の日常も垣間見ることができたようです。最終日の23日はホームステイ先の武陵生と一緒に登校し、2時間ほど授業に混じらせていただいた後、盛大の見送りのなか、武陵を後にしました。

帰国後の生徒の感想を読むと、自分の知らなかった一面を発見できた者や英語の勉強の必要性を痛感した者、将来の進路目標を固めることに繋がった者など、それぞれに得難い経験をしてくれたようで、校長としては満足できる海外研修となったと思っています。これを機に武陵との交流を継続、充実させていくとともに、他の提携先や交流活動も模索していきたいと考えています。

本校は、創立以来130年に渡って国の内外で活躍する人材を輩出してきました。ビジネスや研究など全ての面がグローバルに展開し、世界的な視野や国際的な感覚が求められる現代において、高高生にも単なる知識だけでなく国際人としての素養を身に付けてほしいと願っています。海外研修がその一助となり、その他の教育活動と相まって高高生のポテンシャルを高めていけるよう、学校運営の指揮を執ってまいりますので、会員の皆様にも変わらぬご支援、ご指導を賜れば幸いです。

最後になりましたが、本総会の盛会とご参会の皆様方のご健勝、徳島玉翠会の更なるご隆盛を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



九份



交流活動



お別れ

第33回 徳島玉翠会総会案内

日 時：令和8年6月20日(土)
13：00～16：30
会 場：ザ・グランドパレス徳島
〒770-0831 徳島市寺島本町1-60-1
TEL：088-626-1111
FAX：088-626-4565
URL：http://www.gphotel.jp
Mail：mail@gphotel.jp



式次第

特別講演(13：00～13：30)

写真撮影(13：30～13：50)

総 会(14：00～14：20)

- 一、 開会の辞
- 一、 徳島玉翠会会長あいさつ 長尾 哲見(昭和44年卒)
- 一、 総会議事
 - ・2025年度(令和7年度)会計報告
 - ・2025年度 監査報告
 - ・2025年度 活動報告
- 一、 その他
- 一、 来賓紹介
- 一、 閉会の辞

懇親会(14：30～16：30)

- 一、 開会の辞
- 一、 徳島玉翠会会長あいさつ 長尾 哲見
- 一、 来賓挨拶
- 一、 乾杯
- 一、 懇親
- 一、 徳島クイズ
- 一、 出席者1分間スピーチ
- 一、 校歌斉唱
- 一、 万歳三唱
- 一、 閉会の辞

特別講演の紹介

演題「たった一度の人生だから…」

【講演者】 なかほらだいどう 中原大道 大乘寺住職

【講演者略歴】

昭和50年生まれ。

平成6年 香川県立高松高等学校卒業

平成11年 龍谷大学文学部真宗学科卒業

真宗興正派大乘寺（高松市）住職。真宗興正派本山布教使。高高野球倶楽部（高松高校野球部OB会）副会長。真宗興正派公認の布教使として全国各地で法話をする他、筆文字のオリジナルの法語「おじゅっさんの言葉」でわかりやすく仏教を伝える活動もしている。

【講演者】 なかほらしょうこ 中原祥子 延寿寺副住職

【講演者略歴】

昭和50年生まれ。

平成6年 徳島県立阿波高等学校卒業

平成10年 大谷大学文学部真宗学科卒業

真宗興正派延寿寺（阿波市）副住職。

普段は愛犬と共に散歩するのが日課。たまーに気が向いた時に夫の中原大道と共に音楽法話の活動をしている。高高卒業生でもないのに2度目の登壇。

講演要旨

この頃ラーメン1杯が1000円超えることもあります。前は500円位だったのに…。よく考えるとその「前」というのは自分が学生の頃。30年ぐらい前。ついこの前と思うことも、もはや遠い昔だ。

気が付けばあっという間に時間が過ぎ、私たちも50歳を過ぎました。ここから先もあっという間に時間が過ぎていくのでしょうか。ポーっと過ごしてたらチョコちゃんに叱られる！日々をしっかりと味わって生きなければ！という音楽を交えたおじゅっさん（お坊さん）によるお話です。



中原大道



中原祥子

- ・ 廃プラの MATERIAL リサイクル ・ 廃プラ・木屑等の固形燃料化
- ・ 木屑・廃プラ・汚泥等のサーマル焼却 ・ 砕石及び再生砕石の製造販売

旭 鉱 石 株 式 会 社

代表取締役 漆原 本晴 (昭和 43 年卒)

〒771-4265 徳島市飯谷町枇杷の久保 13 番地 4

TEL 088-645-0169 (代表) 088-645-0373 (注文受付)

FAX 088-645-1575

主な活動報告

年	月	日	内 容	場 所
2026年	1月	17日	第33回徳玉会総会準備役員会(第1回)	カフェ 亭望
	3月	28日	第33回徳玉会総会準備役員会(第2回)	カフェ 亭望
	4月	5日	2025年度会計監査(中村会計・寺嶋監事)	徳島市内喫茶店
	5月	10日	第33回総会誌発送作業・役員会(第3回)	Hサンシャイン
	6月	13日	第33回徳玉会総会準備役員会(第4回)	カフェ 亭望

徳島玉翠会役員・事務局関係者

役員名簿

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
会 長	長尾 哲見	昭和44	副会長	中村 芳正	昭和42
副会長	香川 典子	昭和47	副会長	坂口 英則	昭和48
副会長	松原 淳	昭和60	監 事	寺嶋 吉保	昭和48
幹 事	岡澤 恵美子	昭和35	幹 事	七條 政志	昭和43
幹 事	名尾 和 広	昭和50	幹 事	伊賀 弘起	昭和51
幹 事	丸浦 世造	昭和51	幹 事	塩見 一義	昭和53
幹 事	長町 顕弘	昭和55	幹 事	西良 浩一	昭和57
幹 事	加藤 弘道	昭和58	幹 事	佐々木 園子	昭和58
幹 事	中原 大道	平成 6	幹 事	吉田 守美子	平成 7
幹 事	山下一 太	平成 8			

事務局員名簿

事務局長	坂口 英則	昭和48	会計担当	中村 芳正	昭和42
編集担当	邊見 千香	昭和49	名簿担当	坂口 英則	昭和48
懇親会担当	松原 淳	昭和60	HP担当	中原 大道	平成 6

2026年度各玉翠会総会・懇親会のご案内

玉翠会名	事務局長	日 時	場 所
東海玉翠会	菅野正朗 (50年卒)	5月23日(土) 16:00	東京第一ホテル
東京玉翠会	藤田哲典 (平3年卒)	6月 6日(土) 12:30	東京プリンスH
関西玉翠会	田島朋子 (49年卒)	10月17日(土) 12:00	アートホテル大阪ベイタワー
岡山玉翠会	池田和真 (49年卒)	11月15日(日) 11:00	アークホテル岡山

お問い合わせ・ご連絡は事務局(連絡先は裏表紙に掲載)まで

第 32 回総会・懇親会の報告

徳島玉翠会副会長兼事務局長 坂口 英則（昭和 48 年卒）

今回の第32回玉翠会総会は例年どおりの6月開催となりました。世間では新型コロナの話題はほとんど聞かれませんが、完全に収束した訳ではないので、皆様人混みでのマスク・手洗いは継続して行ってください。

さて、今回は初参加のご来賓・会員に多数ご出席いただき、いつもにも増して賑やかな総会となりました。ご来賓では、玉翠会副会長の池田恵子様（S47）、東海玉翠会幹事の谷崎琴様（S58）、関西玉翠会常任幹事長の川井裕基様（S58）、岡山玉翠会副会長の池田和真様（S49）、会員では大野将秀様（S58）、山本桂子様（H3）、ありがとうございます。結局ご来賓8名、会員25名、計33名の出席となりました。

総会冒頭で長尾会長からは、玉翠会及び各支部からの出席に対して、また玉翠会副会長の森川氏の特別講演に対して御礼がありました。徳島県では昨年県外からの移住者が3千人を超えたという嬉しい報告もありました。

特別講演をいただいた森川副会長には長尾会長から感謝状が贈呈されました。

懇親会では、間島玉翠会会長から、この会には最優先で出席させてもらっていること、高高創立90周年事業からお手伝いをさせてもらっているが、毎年会員が500名ずつ減少している中、昨年の130周年記念事業では1000人もの参加をいただき嬉しかったこと、現在高高は1学年280人で女生徒が多いことが報告されました。

また、サポートに3月アリーナがオープンし、こけら落としでサザン・オールスターズのコンサートには2日間で2万人が訪れたこと、まだまだ再開発が進んでいること（羨ましい限りです。）、現在四国4県で四国八十八箇所の遍路道を世界遺産登録を目指す会で頑張っていること等が報告されました。

最後に現在高高では年間200万円の奨学金を設けているが、今後もこれを継続していきたいので会費の納入をよろしくとのことでした。

中筋校長からは、自身今年で高高も5年目を迎えているがこれは長い方で、今年還暦を迎えるので最後かなと思うのと、各地の玉翠会総会には皆勤賞で出席したことが述べられました。

高高は玉翠会、各支部その他から寄付や様々なご支援を頂きながら活動しているが、それらが生徒にはなかなか伝わらないというジレンマがあること、また高高には香川を意識しながら働く人を育てるミッションがあるが、進学傾向が変化した現在にあっても、国を支える高高生であって欲しいと願っていることが述べられました。

今回、懇親会では玉翠会佐藤副会長と本会会員の丸浦様のご厚意により、四国のお酒が提供されました。これは令和元年の総会において佐藤副会長が「試飲で巡る四国酒蔵88箇所」と題して特別講演をいただいた折、四国のお酒を大量に持ち込んで頂き大好評を得たことで、今回会員からの熱烈な要望（無理矢理という説有り）により実現したものです。佐藤様、丸浦様本当にありがとうございました。

池田玉翠会副会長からは、今日は夏至でタコを食べる日であること、料理がおいしくて和気藹々と楽しんでいること、自分はお酒が大好きなので来年もお酒を並べて貰いたいことなどが述べられました。

谷崎東海玉翠会幹事からは、初めて出席したが同期が大勢出席しており、和気藹々と楽しく過ごしていることが述べられた。（昭和58年卒が7人出席で1テーブルを占める）

川井関西玉翠会常任幹事長からは、自分も58年卒で特別講演が素晴らしいと聞いていたので

出席をしたかったこと、関西玉翠会では50歳になる学年が幹事をするようになってきているが、いきなりでは難しいのでそれをフォローするのが常任幹事の役割であることが述べられました。

池田岡山玉翠会副会長からは、岡山の会員は267名で昨年第44回の総会を開催したこと、岡山も総会時には特別講演を行っているが、医療関係者が多いこと、自分も写真が趣味で今回森川副会長の講演は興味深かったことなどが述べられました。

今回も例年どおり、1分間スピーチ、徳島クイズで盛り上がりました。クイズは本会の松原副会長が毎年頭を絞って考えてくれています。年を追う毎にマニアックな問題となり、正答率が低下（少なくとも事務局長は）しているように思います。もう少し易しくしてもらいたいものです。（泣）



第32回徳島玉翠会 総会・懇親会 令和7年6月21日 於 ザ・グランドパレス

		松原	増富	中原	坂口				
	名尾	吉岡	大野	寺嶋	高木	塩田	加藤	佐々木	
	丸浦	駒木	邊見	伊賀	北畑	鈴木	岡澤	上田	山本桂
水口	池田副会長	池田岡山副会長	間島会長	長尾徳島会長	中筋高高校長	森川副会長	川井関西常任幹事長	谷崎東海幹事	山本雅

玉翠会副会長 池田 恵子（昭和47年卒）

昔々東京に住んでいた若かりし30代半ば頃東京玉翠会に初めて参加した。たまたま一週間ほど前に地下鉄大手町の改札口でバツタリ同級生に出逢ったからだ「ギョクスイカイ、何ソレ？」全く知らなかった。

当日、巨大ホテルの煌びやかな大ホールに次々と吸い込まれていく人、人、人、圧倒されながら同級生のテーブルにたどり着くが、ほぼ見知らぬ面々でぎこちなく座る。

その後二次会で近くのカフェに移動、自己紹介が始まった。頭脳明晰で美人の誉高かった人が「私が学生時代好きだった人は今日ここに居ます！」というバクダン発言。なんという過激な会なのだとはひっくり返りそうになりながら「誰だ誰だ？」と男性諸氏は色めき立つ。彼女は既婚者だったので深掘せずに終わったが、果たして???

それから行ける年は極力参加するようになり、数年後幹事年が回ってきた。40代に入りそれなりに仕事も忙しくなりつつもメールもズームも無いアナログな時代なので、準備会と称して集まっては毎月担当者会議をし、そのまま近所の居酒屋へと流れ込んで行く。

そんなことで数カ月過ぎ追い込みの3カ月前には全学年幹事を招集して、次回玉翠会の内容をプレゼンテーションするはめになる。壇上に各担当リーダーがずらりと並びそれぞれに発表するが、先輩諸氏から矢継ぎ早に手厳しい指摘が飛んできて皆ひるんでしまう。次回までに回答を用意するという事で一か月後に再招集される。そんな中27会と37会の先輩たちが色々と手を貸してくれた。どうも10年前に37会が幹事をした時、27と47に声掛けをして手伝ったそうでその縁がありとてもよくしてもらえた、本当に助かった。おかげで超個性的な大先輩たちにめぐり合うことができたのは私にとって忘れられない大きな財産となった。

総会当日は裏方なのであつという間に終わったが、その後の打ち上げは大いに盛り上がったものだ。そんなこんなで見知らぬ同級生たちはいつの間にか一大事業を共に成し遂げたという立派な同志となり、後年その中の数名と海外旅行にも行った。楽しかった。これも玉翠会あっての大きな絆である。

今度は先輩たちがしてくれたように後輩たちに手を貸す番だ。あの大手町での出会いから始まった私と玉翠会は、今でも先輩後輩たちと沢山のカラフルなすばらしい物語を紡ぎ続けてくれている。藍の町徳島の皆さんともこれからもどうぞよろしくお願ひ致します。

ところで冒頭のタイトルは何？って、..

ダイゴ流「ぎょ（G）くすいか（K）いはす（S）ばらしー（C）！」でした…オソマツ



神田会

徳島玉翠会第 32 回総会に参加して

岡山玉翠会副会長 池田 和真 (昭和 49 年卒)

令和6年11月の岡山玉翠会総会で、副会長兼事務局長を拝命した高高昭和49年卒の池田和真(いけだかずま)と申します。何卒、よろしくお願ひいたします。岡山大学を卒業し、関東地方での研修後、米国、香川大学、岡山大学で血液内科医として勤務し、平成23年度から岡山県赤十字血液センターで血液事業に従事して参りました。この間、郷土の香川では瀬戸大橋、新空港、高速道路、サンポートなどが整備され、さらに瀬戸内国際芸術祭や「うどん県」としての活動などを通して存在感を示し、郷土を誇らしく思っております。同時に、大学卒業後の7年間を除いて香川と岡山で生活と仕事をしておりますので、子供時代からの連続する記憶のなかで生きている感覚です。

徳島は香川の隣県で、子供時代から家族で鳴門や日和佐などを訪れてなじみのある県ですが、この10年足らずでの2回の四国霊場八十八か所巡りを通して、徳島をより身近に感じるようになりました。

令和7年6月21日(土)に開かれた第32回徳島玉翠会には、岡山玉翠会仁木壯会長の代理として出席をさせていただきました。玉翠会本部からの間島会長、池田副会長、佐藤副会長、森川副会長に加え、東海玉翠会谷崎幹事、関西玉翠会川井常任幹事長、さらに高松高校から中筋功雄校長が御来賓として出席しておられました。

玉翠会の森川副会長の特別講演「写真撮影の楽しみ方」では、技術的なお話を骨格としながら、香川で身近にあり、普段見過ごしてしまいそうな対象の写真を数多く紹介していただき、新しいもの、古くて変わらないもの、時とともに変わっているものの中で生活していることを再認識させていただいたように感じました。

徳島玉翠会は、岡山玉翠会と同じくらいの規模で、医療関係者の比率が高い点も岡山玉翠会と共通していると感じました。長尾哲見会長の下、とても和気藹々とした雰囲気、しかもテキパキと運営され、新米の事務局長としては、参考にさせていただくべき点が多かったです。高高的昭和49年卒の同級生としては、徳島玉翠会の編集担当をされている邊見さんと高松市役所に隣接していた四番丁小学校時代のクラスメートでもあった北畑君が同じテーブルで、懐かしくお話をすることができました。以上、自己紹介と徳島玉翠会の印象について書かせていただきました。お互いに香川に近い玉翠会として今後ともよろしくお願ひいたします。



岡山玉翠会だよりの表紙を飾った
池田和真氏撮影のあなぶきアリーナ香川

徳島玉翠会第 33 回総会に寄せて

関西玉翠会常任幹事長 川井 裕基（昭和 58 年卒）

徳島玉翠会第33回総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

昨年の第32回徳島玉翠会総会に初めて参加させて頂きましたが、徳島という地や総会に参加した時の感想を述べさせて頂きます。

長らく大阪に居を構えています、盆や正月に故郷の高松に車で帰省する時はいつも淡路島経由で帰っている、徳島県は通り道であり、気持ちとしては「いつでも立ち寄る事が出来る身近な場所」です。とはいえ、結局、いつも通り過ぎるだけになっていました。

随分と昔の話になりますが、社会人になりたての頃に、大学の同級生が鳴門在住だという事を思い出し、かねてからの念願であった『阿波踊り』の観覧に行きました。高校まで高松にいて一度も阿波踊りに行った事が無いというのも不思議なのですが、実際に参加してみると話しに聞いていた以上の町中での盛り上がりや市民の熱気、どこでもすぐに踊りが始まるという踊りに対する情熱に圧倒され、『この街は狂っている！』と衝撃を受けたものです。

また、高松の同級生の中でも徳島大学の医学部に進学した者も多いので、徳島といえば医学関連と、なんとなく感じていた所がありました。実際に徳島玉翠会総会に参加して皆さんの話しを聞いていると想像以上に医療関係の話題が多く、高高卒業生と徳島には医療系の繋がりがあると感じた次第です。

徳島玉翠会総会で、同期である S58卒の仲間に多く出会えた事は嬉しい誤算でした。

関西の総会では、年々同期の出席者が減ってきており5名も集まれば良い方なのですが、徳島では、偶然とはいえ私を含めて1テーブル7名もおり、しかも『初めまして。3年の時は何組でした？』から会話が始まるのが、新鮮で、とてもうれしい思いをしました。

また、「徳島の総会の中の講演はいつもすばらしい」と聞いていましたので大変楽しみにしていましたが、森川さんの写真に対する熱い想いを込めたお話を拝聴させて頂きました。

四国の地酒の飲み比べなども用意されており、素晴らしく充実した時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。



32回総会でのS58卒同期と。（筆者：右より3人目）

徳島玉翠会第 32 回総会に参加して

東海玉翠会幹事 谷崎 琴（昭和 58 年卒）

昨年、徳島玉翠会に初めて参加させていただきました。徳島の長尾会長は遠方より度々東海玉翠会に足を運んでいただき、徳島玉翠会の魅力を語っておられましたので、ぜひ参加したいとお願いして楽しみにして参加いたしました。

初めに森川輝男様の特別講演会があり、写真撮影のノウハウや苦労話、写真の進化、撮影に必要な知識などをお話しされました。特に印象が残ったのは、高松港での撮影において船を待って日暮れを待って雲の流れを待って、希望の構図にするためにひたすら待って待ってシャッターチャンスを狙うその様子を想像するとワクワクもするけどプレッシャーもかなり大変なことだなあと。だからこそすばらしい納得のいく写真がとれるのだなと感動しました。

懇親会では昭和58年卒の同期が参加者で一番多く、とても嬉しかったです。記憶にある話も記憶にない話も楽しく盛り上がりました。

酒造の方の差し入れ等もあり、日本酒の飲み比べなどぜいたくな時間を過ごすことができました。

徳島の街は独身時代には何度か仕事で訪れましたが、久しぶりに歩いてみると懐かしく、今年はずいぶん阿波踊りに行きたいと思います。

これからも皆様のますますのご活躍と徳島玉翠会のさらなるご発展を心から祈念いたします。



第32回徳島玉翠会懇親会場にて

玉翠会の絆、そしてAIと歩む未来

徳島玉翠会会員 吉岡 義人（昭和58年卒）

玉翠会徳島県支部の皆様、こんにちは。昨年、12年ぶりの徳島玉翠会に参加しました。現在はNTTドコモビジネスソリューションズ徳島支店へ、高松の自宅から通勤しています。本日は貴重な誌面をお借りし、私のこれまでの歩みと、今まさに私たちが直面している「AI時代」への向き合い方について、お話しします。

私の社会人としての第一歩は、東京の私立大学を卒業後に入社した東芝EMI（株）でした。その後、高松へ帰郷し家業である「（株）タマル（タマルレコード）」に入社いたしました。10年余りの間、店頭でCDを販売する傍ら、当時普及し始めたPOSレジの開発や、iモードによるEC販売など、アナログからデジタルへの移行期における「商売の形」を模索し続けた日々が、私の原点といえると思います。

大きな転機が訪れたのは40歳を目前にした頃です。NTTドコモ四国（株）へ転職し、法人営業部門にてソリューション営業に従事することとなりました。音楽という「ソフト」を届ける仕事から、それを支える「インフラ」を提供する仕事へと会社を変えました。

さて、昨今の大きな話題は、何と言ってもAIの進化です。日本経済新聞の報道によれば、2030年頃には、NTTグループ企業の業務の半分以上をAIで代替できるとの考えを明かしました。

また、2026年2月、Anthropic社はAIアシスタント“Claude”（クロード）の新機能として、「Cowork（コワーク）」を発表しました。現在は、ChatGPT、Geminiのような対話型で問い合わせをするAI からAIエージェントと言われる、AIが自律的に状況を判断、計画立案、アクション実行を繰り返すようなフェーズに進化しようとしています。その影響により、ネット経由で業務ソフトウェアを提供する世界的な「SaaS（ソース）」企業の株価が急落した程です。

そういう急速なテクノロジーの進化の中で、我々は「AIは職を失う恐怖」と捉えるべきでしょうか。いや、我々が心がけるべきは「AIに使われるのではなく、AIを使いこなす」という主体的かつ挑戦的なマインドセットだと思います。むしろ定型業務やデータ処理はAIに委ね、我々人間は「共感」「意志決定」「倫理的判断」といった、AIには代替不可能な領域にさらに磨きをかけるべきでだと思います。玉翠会の会員の皆様にとって、AIは決して遠い存在ではなく、むしろ自らの「知」を拡張する最高のパートナーになり得ると思います。

高松高校で培った「独立自尊」の精神を胸に、変化を恐れず、むしろ面白いがる。そんなしなやかな強さを持って、この新しい時代を皆様と共に歩んでいけることを楽しみにしております。



第33回総会誌表紙写真について

フォトグラファー 玉翠会副会長 森川 輝男（昭和41年定時制卒）

第33回徳島玉翠会総会の開催誠にありがとうございます。

昨年の総会では「写真撮影の楽しみ方」についての講演をさせていただき、皆さまにお役立てできたかどうかの思いです。と申すのは、パワーポイントによる講演は初めてであり、いささか心配しながら進めさせていただきました。

日常生活の中で、写真を如何に楽しんでいただけるかを考えての講演内容でした。今日、カメラは驚異的なスピードでデジタル化が進み、生成AIによる写真にいたっては考えられないものが作品化される時代となりました。

モノクロ時代からカラー写真へと変遷。現在、デジタル写真を楽しんでいる方やこれから楽しみたいという方の内容として「写真のジャンル」「撮影に必要な知識」「写真作品とは」を選択させていただきました。

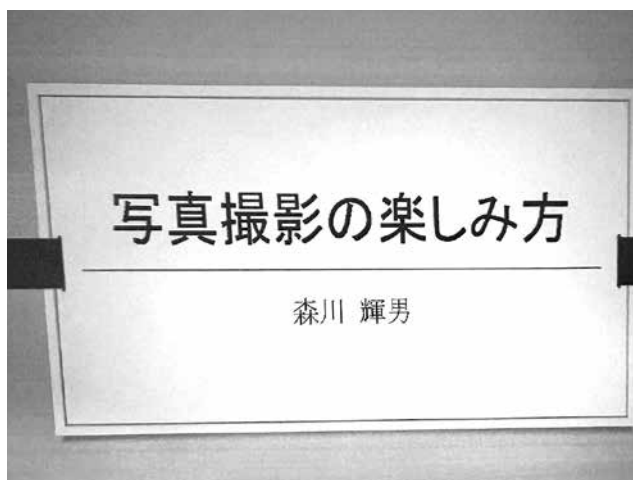
写真は元来、記録することが目的で生まれたもので、如何に上手く写せるかが大切です。しかし、そこに写真の内容や表現力によって作品化し、見る人に感動を与えられるかどうかによって良し悪しが決まっています。

この講演で皆さまにご理解いただけ、写真について興味を持ち、楽しんでいただければ嬉しく思います。ありがとうございました。

第33回徳島玉翠会総会誌の表紙に「暮色の高松」をご掲載いただきありがとうございます。

この作品は、令和元年に峰山展望台から撮影したものです。年々変わりゆく県都・高松のサンポート地区を夕刻、瀬戸内の島々や屋島などを配し、暮色の雰囲気表現したく峰山展望台から撮影したものです。

また、令和5年4月に、10年余り掛けて取り組んできた写真集「讃岐路」瀬戸内の太陽に恵まれての中の瀬戸の都に挿入している作品です。この作品から、暮色の高松を感じていただければ幸いに存じます。



第32回徳島玉翠会特別講演にて

東海玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

2025年5月17日（土）午後4時から名古屋駅名鉄グランドホテルで第16回東海玉翠会総会が開催されました。

入倉憲二会長の挨拶の後に菅野正朗事務局長による会計報告がありました。

続いて中筋功雄校長と間島賢治本部会長の来賓挨拶の後に森棟公夫副会長の乾杯の音頭で懇親会が始まりました。

この後、東京支部の渡辺修会長の祝電披露、関西の大越洋介常任幹事、岡山の櫃本令子副会長に続いて徳島玉翠会会長の私が挨拶しました。

私はお祝いと2025年6月21日の徳島玉翠会のご案内、徳島内外の会員の活躍の紹介をしました。

恒例のクイズでは高松アリーナや高松に関する10問が出され盛り上がりました。

名鉄グランドホテルはリニアの新駅建設に伴い解体される予定で私が16年前徳島玉翠会の会長に就任して初めて参加した事から、今回でこの会場は最後となると聞き少し寂しい気持ちになりました。



第16回東海玉翠会総会 令和7年5月17日 於 名鉄グランドホテル

東京玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会幹事 名尾 和広（昭和50年卒）

令和7年6月7日に東京プリンスホテルで開催された東京玉翠会第43回総会に長尾会長の名代として出席してきました。

長尾会長から、「是非あの盛大な雰囲気味わってきてください。」ということでしたが、昨年8月の高松高校創立130周年記念祝賀会に次ぐ規模に圧倒されました。

総会は、渡辺会長による開会の挨拶で始まり、出席者への御礼の中で、OB会の広い年齢層（18～90歳）のつながりを大切に、今後も結束を強めたいとの思いが語られました。さらに、年次幹事への謝辞が述べられました。

その後、総会の議事が行われ承認が行われました。

続いて、来賓の紹介が行われ、私は、徳島玉翠会の代表として紹介を受けました。

来賓を代表して、まずは玉翠会本部の間島会長が挨拶を行い、130周年記念祝賀会の出席へのお礼と年会費から毎年200万円程度が教育基金に繰り入れられ奨学金の助成に使用されていることの報告がありました。引き続き、中筋高松高校校長が挨拶をされ、今年度の入学者281名のうち1名がせとうち留学生であること等の高松高校の現状の報告がありました。最後に、90歳以上で参加されている3名の卒業生の方が壇上に上がり、参加者への挨拶をされました。

乾杯では、例年の「うどん乾杯」は行われず、岡山玉翠会の仁木会長の音頭で通常の乾杯が行われ、懇親会が開始されました。

総会・懇親会は、今年も、昭和50年卒までが着席、昭和51年卒以降は立食という形でした。また、バイキング料理では、昭和43年卒以前の高齢者の方々が優先される配慮がありました。

今年のテーマである「高高百景」と題した現役高松高校生へのアンケート結果の披露が行われ、OBたちは、映し出される“懐かしい校舎”、“学食のメニュー”等の映像に思い出話の花が咲いていました。

その後、来年度幹事（平成13年卒）と今年度幹事（平成12年卒）の挨拶があり、OB会の未来についての展望が語られました。

最後に、応援部OBの指揮のもと、吹奏楽部OBによる生演奏に合わせて、伝統ある校歌・交友歌・そして、応援歌「高高高高」では出席者が肩を組み合唱。参加者全員が一体となり、OB会の締めくくりとして感動的な場面となりました。

お開き後は、学年ごとの二次会へとなるのが通例のようで、私も昭和50年卒業生の二次会・三次会に参加し、50年ぶりに再会した同級生と旧交を深める貴重な時間を過ごしました。



岡山玉翠会仁木会長の音頭で乾杯

関西玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会幹事 加藤 弘道（昭和58年卒）

令和7年10月11日（土）、「関西玉翠会総会」に行ってみりました。

ちょうど秋の3連休の初日、そして「大阪・関西万博」があと2日で閉幕というタイミングで、行き帰りのバスは満席、梅田も濁流のような人の流れで、都会の熱波とエネルギーを感じつつ、会場の弁天町アートホテルベイタワーに向かいました。

会場に着くと、たまたま大阪に来ていたんでしょうね、玉木雄一郎さんが姿を見せており、ちょうどこの頃「首相になる覚悟はあります」などと発言されていて注目度も高く、あちこちで「玉木さんがいる」と囁かれていました。（開会前には帰られましたが…）

関西玉翠会の総会は200人規模のテーブル席、徳島で言えば、ホテルクレメントかグランヴィリオの端から端までぶち抜いたくらいのスペースで、「やっぱり関西は規模が大きいなあ」と改めて実感した次第です。

ほぼ卒業年次毎にテーブルを囲むような形で、ちょうど昭和58年卒は8人でひとつのテーブルでした。「おや、徳島玉翠会も58卒でひとつのテーブルができたぞ」などとちっぽけな見栄と対抗心を抱きつつ、「高高出身の音楽家による演奏会」と銘打たれたピアノ、バイオリン、テノール歌手の演奏（全員プロ！）を堪能したり、応援団OBのパフォーマンスを見たり、徳島にも来てくれた関西の川井君や東海の谷崎さんらと話をしているうちにお開きとなりました。

思えば、令和7年は8月に大行列の「大阪・関西万博」に行き、9月にホテルニューオオタニでの「徳島県人会近畿連合会総会」に行き、10月に「関西玉翠会」と大阪づいておりました。

今から35年前、昭和の終わりから平成にかけてのバブル全盛期に、大阪市内で働いておりましたので、梅田やなんばに行く度に20代の若かりし頃と当時の異常な高揚感が思い出されるのですが、確か当時の流行語のひとつが、「24時間働けますか？」

「働いて、働いて、働いて、働いて、働いて参ります」との流行語を作った女性初の内閣総理大臣が誕生したのが、関西玉翠会からちょうど10日後のこと。

時代が流れ、ワークライフバランスなどという言葉が人口に膾炙しても、「日本人は根本的にやっぱり働くことが好きなのかな」と思いつつ、長年勤めた県庁の退職の年であり、昭和100年でもある印象深い年が過ぎていったのでありました。



来賓集合写真 筆者左から3人目



圧巻200名集合写真

岡山玉翠会総会に参加して

徳島玉翠会会長 長尾 哲見（昭和44年卒）

2025年11月16日午前11時から岡山市のアークホテル岡山で高松高等学校同窓会の岡山玉翠会第45回総会・懇親会が開催され、私は徳島玉翠会会長として招かれ参加しました。

仁木壯岡山玉翠会会長の開会挨拶の後に「人と地球の健康～二つの目」と題して榎野博史岡山大学前学長・香川県病院事業管理者から記念講演がありました。

この後、来賓挨拶があり、間島賢治玉翠会本部会長、渡辺修東京玉翠会会長の挨拶後、徳島支部を代表して私も挨拶しました。

本部をはじめ関西、東海からの来賓紹介、総会議事、記念撮影の後、渡辺修会長の乾杯で懇親会が始まりました。

この後、参加者全員による1分間スピーチで自己紹介・近況報告がありました。

最後に応援団だった仁木壯会長のエールで校歌を斉唱して閉会しました。

岡山支部は参加者の約三分の一が岡山大学医学部や開業医で差し詰め岡山総合病院みたいでした。

また、岡山県庁や岡山市役所、岡山放送、中国銀行など様々な分野で活躍している方々も参加しておりました。

また、特筆すべきは平成卒の若い方が多く参加しており、未来が明るく感じました。

今回、高松高校卒ではない榎野博史氏を記念講演の講師に依頼した事も特筆すべき事でした。

岡山支部の会報誌も素晴らしく編集されていました。

前日は岡山の同期生と居酒屋で楽しい有意義なひと時を過ごせました。



第45回岡山玉翠会総会 令和7年11月16日 於 アークホテル岡山

徳島玉翠会 会則

第1章 総則

(名称)

第1条 本会は徳島玉翠会と称する。

(目的)

第2条 本会は、会員の相互の連絡と親睦を図る。

2 本会は玉翠会の徳島地区における支部として、本部のもとに母校の発展を期する。

(事業)

第3条 本会は前条の目的を達する為に次の事業を行う。

- 一 会員相互および母校の発展に寄与する。
- 二 親睦を図る為に総会などを開催し、会報や会員名簿を発行する。
- 三 その他の必要と認められる事業。

(事務局)

第4条 本会の事務局を徳島県内に置く。

第2章 会員

(会員)

第5条 本会の会員は、次の資格の一つを備える者とする。

- 一 徳島県に在住し、香川県立高松中学校、同高松高等女学校、同旧高松高等学校、同旧高松女子高等学校および同高松高等学校（以上5校を「母校」という。）の卒業生（これに準ずる者を含む。以下「通常会員」という。）
- 二 その他、本会の役員会が入会を認める者（以下「特別会員」という。）

(部会の設置)

第6条 第3条の事業を行うため部会を設置する事ができる。

2 部会の運営は所属会員の協議による。

(会費)

第7条 会員は年会費を納めることとする。

2 前項の会費の額は、役員会で定める。

第3章 役員

(役員)

第8条 本会に次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 4名
- 三 役員として、事務局長1名、会計1名、監事1名、幹事若干名、その他会長が必要と認めたものを置く。

2 本会に、役員協議を経て名誉会長、名誉会員、顧問を置く事ができる。

(役員選出)

第9条 役員選出は次のとおりとする。

- 一 会長及び副会長は、役員会の推薦に基づき総会で決定する。
- 二 その他役員は会長が推薦して役員会で決定する。

(任期)

第10条 会長及び副会長の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 役員任期は2年とし、再任を妨げない。

(役員職務)

第11条 役員職務は次のとおりとする。

- 一 会長は本会を代表し、会務を統率する。
- 二 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時は会長の職務を代行する。
- 三 事務局長は、会長の指示に従い会務を遂行する。
- 四 会計は、会務に必要な収支を管理し総会で報告する。
- 五 監事は本会の会計を監査する。

第4章 会議

(総会)

第12条 総会は会長の招集により、毎年1回開催する。

2 総会においては次の行事を行う。

- 一 本会の運営に関する協議決定と会務及び会計報告
- 二 会員の親睦を図る行事
- 三 その他、必要な事業

(役員会)

第13条 役員会は会長の招集により、適当な時期に開催する。

(議決)

第14条 総会及び役員会の議決は、出席者の過半数をもってこれを行う。議長は会長が行い、副会長が代行することができる。可否同数の場合は議長の決するところによる。

(会計)

第15条 本会の会計は、年会費および寄付金その他の収入による。

(会計年度)

第16条 本会の会計年度は、毎年4月1日にはじまり翌年3月末に終わる。

第5章 会則の改正

第17条 この会則の改正は、役員会の議を経て総会で決定する。

第6章 細則

第18条 この規則施行に関し、必要な細則は役員会の議を経て別に定める。

付則

(会則の最終改正) この改正規則は、平成21年1月10日から施行する。

編集後記

第32回総会誌の表紙写真、恋する灯台「暮色のせとしるべ」の続編を要望する声に応じてフォトグラファー森川輝男玉翠会副会長に依頼したのが、第33回総会誌表紙写真の「暮色の高松」。栗林公園西の峯山展望台に立ち、レンズを通して刻々と変わる瀬戸内の夕景を無心に撮り続ける。日没後の夜が迫る高松港は周辺の高層ビルの輪郭が無数の灯りで宝石を散りばめたように姿を変える。港を行き交う船の軌跡、屋島、女木男木島、豊島、小豆島は暮色に溶けひたすら美しい。この魅惑的な色の再現は松下印刷浦川様にお任せしました。森川様の講演は大好評、高高現代事情を間島会長、中筋校長先生の話から知る。台湾の高等学校との現地への交流旅で新たな自分を知るとは高校生らしい。藍色上衣で初来徳の池田副会長様、四駆会同級生の池田岡山副会長様、58年卒関西玉翠会常任幹事長川井様、東海玉翠会幹事谷崎様、本会会員吉岡様、7名が徳島で同窓会とは奇跡。ご寄稿頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。なお、第32回の総会懇親会の写真は徳島玉翠会HPに掲載いたしております。裏表紙のQRコードを読み取って、アクセスしてください。

今年の特別講演は真宗興正派の住職中原大道様祥子様ご夫妻の「たった一度の人生だから…」音楽を交えたお話です。ぜひご聴講ください。また本会会員大野様（58年）、山本桂子様（平3年）初徳島玉翠会へようこそ。第33回総会誌を発行するにあたり、広告賛助頂きました皆様（p1掲載）、多額のご寄付を頂戴いたしました丸浦様、ご寄稿を頂戴いたしました皆様、松下印刷様に心より感謝申し上げます。6月20日土曜日総会懇親会でお会いしましょう。

徳島玉翠会事務局編集担当 邊見 千香（昭和49年卒）

美しくやすらぎのある空間、美味しい体験。
お客様に幸せな時間を提供いたします。
街の資産となるホテル&レストランへ、ようこそ。

ザ・グランドパレス

徳島市寺島本町西 1-60-1 TEL 088-626-1111

パークウエストン

徳島市南前川町 3-1-22 TEL 088-624-3333

アグネスホテル 徳島

徳島市寺島本町西 1-28 TEL 088-626-2222

匠の心、未来へ。



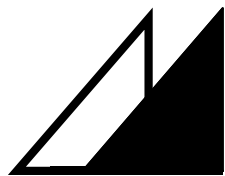
KOTAKE

株式会社 小竹組

〒760-0062 高松市福岡町4丁目28番30号
TEL: (087) 851-9096 FAX: (087) 822-6975
URL: www.kotakegumi.com

小児科・内科・循環器科・心療内科・神経内科・精神科
精神科デイケア

※臨床心理士によるカウンセリング、精神保健福祉士による、個別相談随時行っています。(要予約)



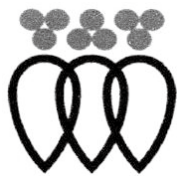
医療法人 医学生会

宮内クリニック

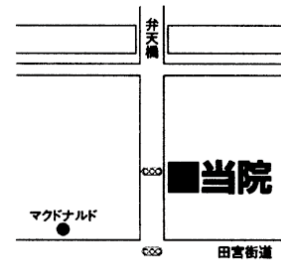
徳島市名東町2丁目660-1 ☎ (088) 633-5535

宮内 吉男 宮内 和瑞子(昭和48年卒)

いしたに耳鼻咽喉科クリニック



院長：石谷保夫
(昭和48年卒)



〒770-0006

徳島市北矢三町3丁目2-53

電話：088-633-8741

FAX：088-633-8715

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:30	○	○	○	/	○	○
午後3:00~6:00	○	○	○	/	○	5:00 まで

休診日/木曜日・日曜日・祝日



いのもと 眼科 内科

院長：猪本享司(内科)・副院長：猪本(旧姓横井)康代(眼科) (昭和50年卒)

〒771-0204

徳島県板野郡北島町綱浜字かや 122-1

電話：088-698-8887

FAX：088-698-7110

<http://www.inomoto.jp>



使用していない土地や建物はございませんか？
家を建てるための土地をお探しではないですか？

土地

家屋

一度アルファードに
ご相談ください！

買取・販売
致します

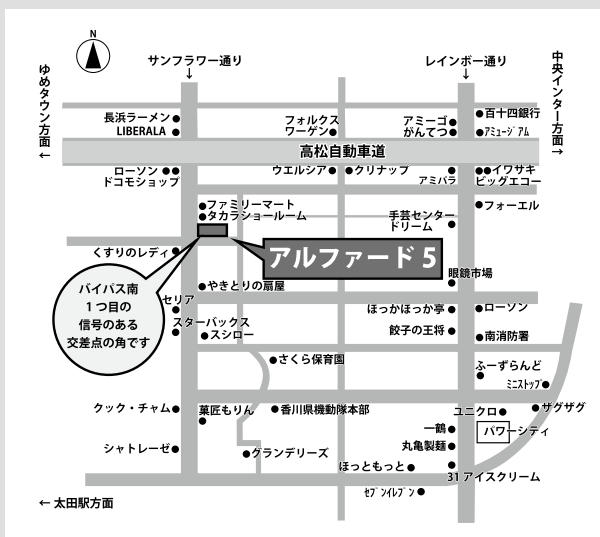
農地

金額・広さに
制限はありません

- ✓ 管理が大変・処分に困っている土地
- ✓ 相続で譲り受けた空き家を手放したい
- ✓ 新築を立てるための土地を探している

インターネットからのお問合せも
受け付けております

<https://www.alphard7.com>



香川県・徳島県の土地を
中心にお取り扱いしています！
まずは御気軽にご相談ください
親身にご対応させていただきます



ALPHARD.INC
株式会社アルファード5
代表取締役 七條 政志

Tel : 087-815-0333
Fax : 087-815-0332
香川県高松市伏石町2174番地16

全国宅地建物取引業保証協会会員 香川県知事 (3) 第 4321 号
(公社) 香川県宅地建物取引業協会会員



第 33 回総会誌

2026 年 5 月 10 日発行

編集・発行

徳島玉翠会事務局

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村 641-54

坂口方

TEL 090-4974-1934

E-Mail:mjhide@ma.pikara.ne.jp

印刷

松下印刷株式会社

〒770-0874

徳島市南沖洲 5 丁目 7-63

TEL 088-664-5522

FAX 088-664-5527

公式) 徳島玉翠会 HP

<https://gyokusui.org/tokushima/>



←こちらの QR コードを
読み取って、アクセス
してください。